

長浜市立余呉小中学校視察報告書

期 日	令和4年12月15日（木） 13時30分～15時45分
視 察 地	長浜市立余呉小中学校（滋賀県長浜市余呉町中之郷 777 番地）
視 察 目 的	（仮称）笠原小中学校の開設に向け、ソフト・ハードの両面で参考とするため。
事前質問に 対する回答	1. 義務教育学校での主なメリットとデメリット（ソフト面とハード面それぞれ） →人口、特に子どもが減少する中、学校を存続させるためには何が有効かという点を最優先した。 2. 義務教育学校に対する地元住民や保護者からの意見聴取の方法と主な内容 →滋賀県で初の一体型義務教育学校であり、設置に当たっては地元住民へのアンケートを実施した。 3. 開校までの各種検討委員会やワーキンググループ設置の有無とスケジュール （校名・校章・校歌・制服の決定過程と、決定後に発生したトラブルがあれば） →平成26年度当時、議会において教育長が「複式学級がある又はその可能性がある学校は統合していく」と答弁したところから始まった。 →平成27年度からは、よご認定こども園、余呉小学校、鏡岡中学校が連携したプロジェクトを開始させた。 →校歌については、作詞は小学校校歌の作詞家に、作曲家については若手作曲家に依頼した。 →校章については公募を行い、最終的に県外の応募者のデザインに決定した。 4. 開校までの小・中学校間でのすり合わせ状況（ソフト面とハード面それぞれ） →月に2回、小学校、中学校それぞれの職員全体が内容ごとに分かれて協議を行ってきた。 5. プール・体育館・特別教室等、使用が集中する施設運営の方法 →校舎は旧余呉小学校の校舎を回収せずに使用している。 →児童生徒数が少ないため、施設の使用が集中して調整が困難ということはない。体育館については、近くにある市の体育館や旧鏡岡中学校の体育館も含めて運用している。 6. 学年段階の区切りの設定状況（開校後の変更の有無、成果と課題） →4－3－2制で、最後の2年は社会（高校や専門学校への進学、就職等）へ出ていくための準備期間とも考えている。 →4－3－2制を採用していることで、後期課程に進級する際の心配がない。 →第2ステージを設けることで、第1ステージ最上級生の4年生の力が他校と比較して伸びていると感じるが、一方で6年生には危機感のようなものがない。 →第2ステージのあり方も含め、いつまでたっても最適解はないように感じている。

事前質問に対する回答	7. 教員の配置や特色あるカリキュラム編成（学級担任と教科担任） → 1～4年生は学級担任制、5、6年生は学級担任制に加え一部教科担任制、7年生からは教科担任制である。 → 余呉について学び、伝えるため、生活、総合的な学習の時間に「よごふるさと科」を設け、体験や調査活動を行っている。 → 春～秋と、冬とでは時間割が異なる。もともと、県内で最も登校時間が早い学校で、7時55分であったが、校区が広く通学が大変なこと、教職員も通勤が大変なことから、令和4年度からは8時10分に変更した。 → 校区が広いため、通学方法は、前期が徒歩かスクールバス、後期は徒歩、スクールバス、保護者による送迎のいずれかである。 8. 入学式、卒業式、前期・後期課程修了式、運動会、文化祭、宿泊研修等の学校行事の状況 → 入学式は1年生、卒業式は9年生のみで、6年生終了時点では卒業式は行わず、修了証書を渡すのみである。（同じ長浜市の義務教育学校「虎姫学園」では、前期課程修了式を開催） → 修学旅行は9年生のみで、6年生は1泊2日の研修旅行に行っている。 → 運動会は全校で行う。 9. P T A・学園生会の構成や運営方法 → P T Aに限らず、地元の方々から全面的に協力いただける。いつも学校で何か困っていることはないかと気にかけていただき、何かあればすぐに助けていただける関係であり、大変ありがたい。 → 学園生会には、総会のほかにさまざまな委員会がある。総会には全員が、委員会には5年生以上が参加する。 10. クラブ活動や部活動の構成や運営方法 → 部活動は5年生から仮入部、7年生から本入部となる。 → 部活動は7つあり、全員入部である。 11. 管理職の構成（提案・検討・決定の方法）や校内組織（企画・指導部会等）の状況 → 校長は1人、教頭、養護教諭、事務は前期課程と後期課程で各1人である。 → 小学校と中学校が義務教育学校になった後、職員同士が協力できているのは、職員室がひとつで、お互いの状況が常に情報として入ってくる、いつでも話ができる点が大きいと感じている。（写真1参照） → 教員の配置については、1学年1クラスで同じ学年を担当する教員がいないため、ステージごとにまとまりをつくり、「ステージ長」を置いている。 → 図書司書は非常勤で、週3日、1日3時間の勤務である。 12. 他校との転入・転出で発生したトラブル → 特になし
-------------------	--

事前質問に対する回答	13. 日課、年間指導計画における配慮事項 →朝は、立腰（腰骨を立て、姿勢を正すこと）、読書で始めるなど生活習慣を身につけること、中休みに運動をすることで体力向上や運動習慣を身につけることを意識している。 →チャイムは、授業ごとに鳴らすのではなく、朝や昼休みなど全校統一のタイミングのみである。	
授業・校内施設見学	1. 職員室  前期課程担当と後期課程担当が対面する形で1列に並んでいる。中央は共有のパソコン等が置かれており、一部が作業スペース。写真奥に見えるのは教頭席。	2. 昇降口  全校児童生徒が125名（令和4年4月現在）のため、教職員分も合わせて昇降口は1箇所。写真奥に見える扉の向こうが職員室。
授業・校内施設見学	3. 前期課程の授業の様子  幅に対して奥行のある教室。後方には「ランリュック」を入れるロッカーがある。前方に可動式のモニター、写真の手前（廊下側）には上着を掛ける可動式のラックがある。	4. 後期課程の授業の様子  前期課程と教室の広さ、仕様は同じ。前期課程と異なり、制服（ブレザーとスラックス又はスカート）を着用。

5. 図書室



前期課程・後期課程共有の図書室。本棚の配置により、ゆるやかにゾーン分けされている。

6. 体育館



バスケットコート2面を取っても周囲に余裕がある体育館。写真奥のステージは手前が階段状になっており、ステージの一部として活用できる。

7. 体育館（ステージ下収納）



8. 保健室



前期課程・後期課程共有の保健室。収納式のベッド2台があり、前期課程・後期課程両方の養護教諭の机も室内に向かい合わせに配置されている。